

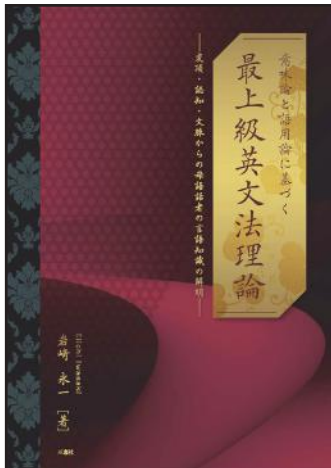
# 意味論と語用論に基づく最上級英文法理論

変項・認知・文脈からの母語話者の言語知識の解明

岩崎 永一 著

**世界の中の実体指示(すなわち、純粋な言語能力の外にある要因)に依拠しない、真なる意味で普遍文法の一部をなす洗練された意味論と文化や認知が織りなす語用論を体系的に纏め上げた言語理論の研究書。**

生成文法における「移動」を引き起こす要因についても、画期的な代替案を提案し、その強い説明力を言語事実に基づきながら明示的に示す。<英語の母語話者がどのように英語を理解しているのか>を知りたい読者に、一段高い視座とインスピレーションを与える。第11章では英語教育の理念的問題を取り上げ、リベラルに、鋭く、そして、深く、根本問題を議論する。生成文法、認知言語学、英語学の研究者を中心に、日本語学、言語哲学、数学の研究者、英語教員、そして、言語教育政策担当者にも一読の価値ある研究書。理論言語学の現状に対する著者の所見を述べた「あとがき」付き。



## ◆目次

- 第1章 本書の目的と理論的枠組み
- 第2章 Donnellan (1966) の帰属的用法・西山 (2003) の変項名詞句
- 第3章 不特定・非指示の定冠詞
- 第4章 認知と文化を反映する総称表現の英語定冠詞
- 第5章 総称表現における英語の不定冠詞
- 第6章 「ウナギ文」における英語定冠詞と日本語の「は」
- 第7章 There存在文における変項と定冠詞
- 第8章 変項詞Soと文脈と命題関数
- 第9章 日英語の比較1：疑問代名詞と変項
- 第10章 日英語の比較2：照応詞と同一指標・同一指示
- 第11章 英語教育での活用可能性と理念的問題
- 第12章 まとめと結語

## ◆著者紹介

岩崎 永一 (Eiichi Iwasaki)

慶應義塾大学経済学部卒業。英国エセックス大学大学院言語学科修了(M.A. in English Language & Linguistics)。ケンブリッジ大学セント・エドモンド・コレッジ客員研究員(Visiting Scholar)等を経て、現在、早稲田大学産業経営研究所招聘研究員、明治大学兼任講師(文学部の意味論も担当)、早稲田大学、千葉大学、国士舘大学非常勤講師。専門は意味論・語用論・統語論ならびに言語哲学。著書(単著)に、和文研究書『英語定冠詞とコンピュータの意味論—背後に潜む自然数概念—』(金星堂、2015)、英文研究書The Syntax and Semantics of Comparative Correlatives: A Generative-Cognitive Language Design(三恵社、2017)がある。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	岩崎永一 [著] <b>意味論と語用論に基づく最上級英文法理論</b> ～変項・認知・文脈からの母語話者の言語知識の解明～ 300頁 / A5判 / 並製 定価 2,500円 (税別) ISBN978-4-86487-834-0 C3082
ご注文は、JRCへ FAX：03 - 3294 - 2177 (TEL：03 - 5283 - 2230) 株式会社 JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。